

## 日本版DMO形成・確立計画

## 1. 日本版DMOの組織

申請区分	地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	(一社) 寒河江市観光物産協会	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	山形県寒河江市	
所在地	山形県寒河江市	
設立時期	平成26年7月9日	
職員数	4人	
代表者(トップ人材: 法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 那須 義行 「専従」 (一社) 寒河江市観光物産協会	(一社) 寒河江市観光物産協会の代表理事(会長)として、日本一さくらんぼの里である寒河江市における観光地域づくりで成果を挙げている。
各種データの分析・収集等(マーケティング)の責任者(専門人材)	(氏名) 猪倉 秀行 「専従」 (一社) 寒河江市観光物産協会	(一社) 寒河江市観光物産協会の事務局長として、日本一さくらんぼの里である寒河江市における観光地域づくりで成果を挙げている。なお、前職において、観光振興の職歴を9年有しており、観光地域マーケティングについて高い知見と能力を持つ。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	山形県寒河江市さくらんぼ観光課(観光振興) 政策企画課(地域公共交通) さがえ未来創成課(マーケティング(ふるさと納税)) 建設管理課(社会資本整備)	
連携する事業者名及び役割	西村山DMO(広域観光振興/西村山1市4町、各市町観光協会、JR東日本、山交バス) 寒河江市金融団(観光業への金融サポート) 寒河江市商工会(市内商工業振興(観光地域づくり)) さがえ西村山農業協同組合(市内農業振興(観光地域づくり)) 寒河江温泉協同組合(市内温泉業振興(観光地域づくり)) 寒河江料理飲食業組合(市内飲食業振興(観光地域づくり))	
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	(該当する要件) ①、④ (概要) (一社) 寒河江市観光物産協会の理事には、観光業関係者だけでなく、市内の大企業(上場1部)、中小企業(酒蔵等)、NPO(地域づくり)及び市役所の代表者等が参画している。また市内関係者との連携する仕組みだけでなく、近隣自治体や公共交通機関等で構成される組織(西村山DMO)を設置するなど、多様な観光関係者が関与する仕組みを構築している。	
法人のこれまでの活動実績	(活動の概要) 1. 観光客の誘致 JTB、クラブツーリズム、はとバス等の旅行会社への旅行商品造成(さくらんぼ狩りや慈恩寺等)のセールス  2. 観光情報の集積及び発信	

	<p>HP、SNS (facebook 等) 及び月刊「寒河江観光情報」(イベント情報等) を通じた情報収集発信</p> <p>3. 観光客の受入態勢の整備及びレベル向上 西村 DMO (事務局: 寒河江) における人材研修 (インバウンド対応) 等の実施</p> <p>4. 観光資源及び観光事業の調査研究 西村 DMO (事務局: 寒河江) における調査事業 (GAP 調査、創業可能性調査) 等の実施</p> <p>5. 観光物産品の開発及び振興 イメージキャラクターであるチェリンのグッズや国史跡指定の慈恩寺関連の商品開発</p> <p>6. 前 5 項に寄与する興行の企画運営 「チェリンとあそぼう」(毎年数百人規模) などの企画運営</p> <p>7. 地方公共団体から委託される観光イベント等の企画運営 さくらんぼの種吹きとばしイベント (毎年数千人規模) やふるさと割の企画運営 (寒河江市委託)</p> <p>8. 地方公共団体から委託される観光関連施設の管理運営 観光案内所 (道の駅寒河江チェリーランド (JNTO 認定外国人観光案内所 (カテゴリー 1))、JR 左沢線寒河江駅)</p> <p>(定量的な評価) 観光客数 (延べ人数/平成 26 年度) : 343 万人</p>										
<p>実施体制</p>	<p>(実施体制の概要)</p> <p>(一社) 寒河江市観光物産協会が、さくらんぼ狩り等を担うさがえ西村山農業協同組合や寒河江温泉の管理等を行う寒河江温泉協同組合などの市内観光関係者と、近隣自治体や公共交通機関等で構成される西村山 DMO と連携して、寒河江市における観光振興を図る。</p> <p>実施体制図 (一社) 寒河江市観光物産協会 幹部</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <pre> graph TD     A[会長] --- B[理事会]     B --- C[観光誘客部会]     B --- D[物産振興部会]     B --- E[基盤整備部会]     C --- F[事務局]     D --- F     E --- F             </pre> </div> <div style="flex: 1;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">会長</td> <td>観光物産協会</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>商工会</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>JA</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>市内観光施設</td> </tr> <tr> <td>専務理事</td> <td>市内宿泊業</td> </tr> </table> </div> </div>	会長	観光物産協会	副会長	商工会	副会長	JA	副会長	市内観光施設	専務理事	市内宿泊業
会長	観光物産協会										
副会長	商工会										
副会長	JA										
副会長	市内観光施設										
専務理事	市内宿泊業										

## 2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

### 【区域の範囲が分かる図表を挿入】

寒河江市は、山形県のほぼ中央に位置し、山形市から 20 キロメートル圏内にある。

西村山地域の中核として発展し、市内を庄内地方と県都・山形市を結ぶ国道 112 号が走り、また、山形県の中央を横断し、庄内地方と宮城県とを結ぶ山形自動車道には、寒河江インターチェンジと寒河江サービスエリアスマートインターチェンジでアクセスしており、県内高速交通網の要衝となっている。

山形県の母なる川・最上川と清流・寒河江川が、市街地を包むように流れ、月山と葉山、遠くに蔵王、朝日連峰を望み、四季の変化に富んだ美しい景観と豊かな自然環境に恵まれ、千年以上もの間育まれてきた歴史や文化を有しております。



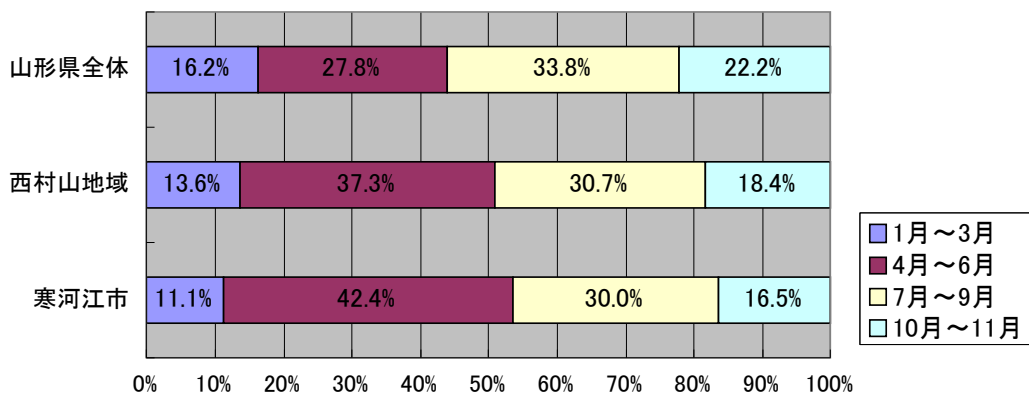
### 【区域設定の考え方】

昭和の大合併以来、さくらんぼを中心とした観光地域づくりを行ってきた寒河江市全域を区域と設定している。なお、寒河江市を含む西村山 1 市 4 町において、西村山 DMO を設立しており、経済的・文化的に関係が深い西村山地域の観光振興も視野に入れて、活動を行う。

### 【観光客の実態等】

寒河江市の観光客数は、「山形デスティネーションキャンペーン( DC )」の開催効果もあり、約 343 万人を記録した。他方で、山形県内及び近隣自治体と比較して、観光客数が春・夏季に集中し、特に冬季における観光客数の停滞が課題となる。

<寒河江市等の観光客数>



出典：山形県商工労働観光部「山形県観光者数調査」

【観光資源：観光施設、文化、自然、イベント、スポーツ等】

(別添) 様式 1

観光施設/文化	慈恩寺	聖武天皇の勅命によって開基されたと伝わる古刹。国史跡にも指定され、本堂、三重塔、薬師堂などが立ち並び、厳かに静寂の時を刻んでいる。本山慈恩寺本堂の他、薬師三尊や十二神将は国重要文化財に指定されている。
観光施設/自然	寒河江公園	11種類、4万3千株のつつじが咲くつつじ園は東北最大規模。5月上旬から下旬にかけて見頃をむかえ、期間中は夜間ライトアップも実施。5月中旬にはイベントも開催している。
観光施設/自然	観光フルーツ園 (さくらんぼ等)	「日本一さくらんぼの里さがえ」には300箇所のさくらんぼ果樹園があり、6月には市内各地でさくらんぼ狩りが楽しめます。その他、雪中いちご狩りやぶどう狩りなど、季節に応じたフルーツ狩りが楽しめる。
イベント	寒河江まつり(神輿の祭典)	毎年9月の寒河江八幡宮の例大祭の時期に開催される祭り。祭りのフィナーレを飾るのは「神輿の祭典」。約4,000人の担ぎ手が神輿を担ぐ姿は圧巻。
イベント	やまがた雪フェスティバル	山形県の雪まつりのオープニングを飾るイベント。会場では雪像やイルミネーション、雪見横丁や雪遊び体験など、大人も子供も楽しめる内容が盛りだくさん。
イベント/スポーツ	さくらんぼスポーツシリーズ	さくらんぼウォーク、さくらんぼマラソン、ツール・ド・さくらんぼ

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

域内分布：寒河江駅を中心とした寒河江温泉及び最上川沿いのチェリークア・パーク等に宿泊施設が立地

施設数：12軒

収容力：868人(合計)

施設規模：収容力100人以上の施設が4つ、50人以下の施設が4つ

【利便性：区域までの交通、域内交通】

<市外>

鉄道：JR山形駅⇔JR寒河江駅(30分)

空港：山形空港⇔寒河江市内(空港ライナー/30分)

車：仙台市⇔寒河江市内(東北自動車道-山形自動車道/60分)

酒田市⇔寒河江市内(日本海東北自動車道-山形自動車道/60分)

※高速バス：東京⇔寒河江、仙台⇔寒河江、酒田⇔寒河江、本庄⇔寒河江

<市内>

バス：山交バス(6路線)、循環バス(8本/1日)

タクシー：寒河江タクシー(25台)、中央タクシー(25台)

レンタサイクル：15台

【外国人観光客への対応】

JNTO認定外国人観光案内所(カテゴリー1)：道の駅 寒河江チェリーランド

※外国人向け観光パンフレット作成済み

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
市内満足度	観光振興に対する市内の理解度を測るため。	自治体等と連携して、市民に対してアンケート調査を実施。

(別添) 様式 1

CS 調査	市内への観光客の満足度を測るため。	自治体等と連携して、観光客に対してアンケート調査を実施。
観光地入込調査	経済効果の指標として、市内主要観光地の状況を把握するため。	自治体等と連携して、市内主要観光地において調査を実施。
観光 web 媒体アクセス調査	観光情報収集の状況を把握するため。	自治体等と連携して、観光関係 HP のアクセス数を収集する。

## 4. 戦略

### (1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<b>強み (Strengths)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な自然資源、温泉資源</li> <li>・伝統文化 (慈恩寺等)</li> <li>・郷土食 (そば、芋煮等)</li> <li>・高速道路や道路網の充実</li> <li>・仙台圏からのアクセスしやすさ</li> <li>・県内各地域からのアクセスのしやすさ</li> </ul>	<b>弱み (Weaknesses)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然環境や歴史・伝統文化等の素材を十分に活かしてきれていない</li> <li>・秋・冬の観光客数が少ない</li> <li>・冬季観光は「温泉観光地」に依存している</li> <li>・公共交通網の整備不足</li> <li>・宿泊施設の不足</li> <li>・「寒河江」の認知度不足、情報発信不足</li> <li>・県外客の誘客および受入体制が未整備</li> </ul>
外部環境	<b>機会 (Opportunity)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化、団塊の世代の退職によるシニアマーケット拡大</li> <li>・空前の「食」ブーム</li> <li>・ふるさと回帰、健康志向、癒し志向の高まり</li> <li>・日本へのインバウンド客の増加</li> <li>・外国人の雪需要の拡大 (台湾、中国)</li> </ul>	<b>脅威 (Threat)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総人口減少</li> <li>・生産年齢人口が減少、地域全体で「稼ぐ力」が急激に減退</li> <li>・県内人口減少による県内観光客数の減少</li> </ul>

### (2) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 80km 圏内に位置し、人口 108 万を超える仙台市等に在住のシニア層 仙台市人口：60～74 歳 19 万人 宮城県：60～74 歳 46 万人</p> <p>○第2ターゲット層 80km 圏内に位置し、人口 108 万を超える仙台市等に在住の若い女性層 仙台市人口：20～49 歳 22 万人 宮城県：20～49 歳 43 万人</p>
<p>○ターゲット層：80km 圏内に位置し、人口 108 万を超える仙台市等に在住のシニア層</p>
<p>○選定の理由、○取組方針 仙台圏からの良好なアクセス条件を活用した、購買力のあるシニア層のうち 1 時間程度の移動時間に対応できる年齢層 (60～74 歳) をターゲットとする。当該層が強い関心を寄せる食 (そば等) 及び文化 (慈恩寺等) を前面にした観光振興を行う。</p>

(別添) 様式 1

○ターゲット層：80km 圏内に位置し、人口 108 万を超える仙台市等に在住の若い女性層
○選定の理由、○取組方針 仙台圏からの良好なアクセス条件を活用した、情報発信力のある若い女性層（20～49 歳）をターゲットとする。当該層が強い関心を寄せる食（さくらんぼ）を前面にした観光振興を行う。

**(3) コンセプト**

①コンセプト さくらんぼと歴史を誰もが感じる「ほっとシティ」
②コンセプトの考え方 「さくらんぼ」観光園を中心に多くの観光客に来訪いただいているが、観光客が初夏に集中している状況を鑑み、寒河江市のもうひとつの観光資源である慈恩寺などの「歴史」や「温泉」を観光のポイントに加え、老若男女があたりかさをを感じる観光をコンセプトとする。  さくらんぼ：日本一さくらんぼの里（さくらんぼ狩り） 歴史：時の権力者に愛された荘園（慈恩寺等） 誰もが：子供からシニアまで ほっと：寒河江温泉

**5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション**

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	DMOを中心として、地域の関連事業者等を集めてコミュニケーションの場を設けるとともに、関連事業者等に対する研修等を実施
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	市内観光関係者向けのサービス向上に係る研修を実施
一元的な情報発信・プロモーション	観光拠点である道の駅や JR 寒河江駅にワンストップ窓口を開設、SNS を利用した効果的なプロモーション

**6. KPI（実績・目標）**

**(1) 必須KPI**

指標項目	単位	26年(度)	27年(度)	28年(度)	29年(度)	30年(度)	31年(度)
●旅行消費額	億	309	280	288	297	306	315

## (別添) 様式 1

	円						
●延べ宿泊者数	万人	4.9	4.6	4.7	4.8	4.9	5.0
●来訪者満足度	%	-	-	50	55	60	65
●リピーター率	%	-	-	-	-	-	-

※リピーター率：平成 27 年度及び 28 年度実施調査結果を踏まえて、設定

## (2) その他の目標

指標項目	単位	26 年(度)	27 年(度)	28 年(度)	29 年(度)	30 年(度)	31 年(度)
●観光地入込数	万人	343	320	328	336	344	353
●観光物産協会等のホームページアクセス数	万回	7.2	7.4	7.6	7.8	8.0	8.0

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

## (1) 収入

年度	総収入(円)	内訳
26 年度	43,835,459 (円)	(内訳の区分) 【公的機関からの補助金】 1,100,000 【会費収入】 1,825,000 【収益事業収入】 40,067,157 【その他】 843,302
27 年度	44,000,000 (円)	(内訳の区分) 【公的機関からの補助金】 1,100,000 【会費収入】 1,825,000 【収益事業収入】 40,067,000 【その他】 1,008,000
28 年度	45,000,000 (円)	(内訳の区分) 【公的機関からの補助金】 2,100,000 【会費収入】 1,825,000 【収益事業収入】 40,067,000 【その他】 1,008,000
29 年度	46,000,000 (円)	(内訳の区分) 【公的機関からの補助金】 3,100,000 【会費収入】 1,825,000 【収益事業収入】 40,067,000 【その他】 1,008,000

## (2) 支出

年度	総支出	内訳
----	-----	----

(別添) 様式 1

26 年度	36,417,672 (円)	(内訳の区分) 【一般管理費】 11,377,429 【国内プロモーション】 819,150 【観光イベントの開催費】 24,221,093
27 年度	36,417,672 (円)	(内訳の区分) 【一般管理費】 11,377,429 【国内プロモーション】 819,150 【観光イベントの開催費】 24,221,093
28 年度	37,417,672 (円)	(内訳の区分) 【一般管理費】 11,377,429 【国内プロモーション】 819,150 【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】1,000,000 【観光イベントの開催費】 24,221,093
29 年度	38,417,672 (円)	(内訳の区分) 【一般管理費】 11,377,429 【国内プロモーション】 819,150 【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】2,000,000 【観光イベントの開催費】 24,221,093

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

ふるさと納税(平成 27 年度:約 12 億円)を原資として、積極的な情報発信による全国をターゲットとした観光物産振興を行うとともに、職員体制や拠点整備等の観光地域づくりを行う。

8. 日本版 DMO 形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

山形県寒河江市は、(一社)寒河江市観光物産協会を寒河江市における地域 DMO として登録したいので、(一社)寒河江市観光物産協会とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	猪倉 秀行
担当部署名(役職)	事務局(事務局長)
所在地	山形県寒河江市八鍬字川原 919-6
電話番号(直通)	0237-86-8866
FAX 番号	0237-85-1270
E-mail	sakuranbo1@sagae-kanko.com



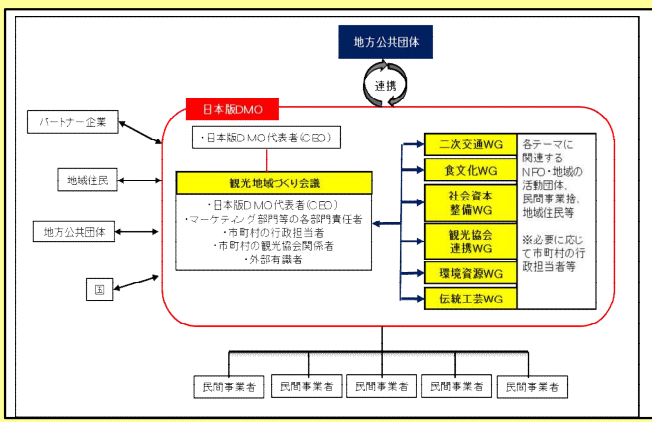
**10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先**

都道府県・市町村名	山形県寒河江市
担当者氏名	伊藤 耕平
担当部署名(役職)	さがえ未来創成課(課長)
所在地	山形県寒河江市中央 1-9-45
電話番号(直通)	0237-86-2111
FAX 番号	0237-86-7220
E-mail	Ito-kohei@meti.go.jp

# (さくらんぼと歴史を誰もが感じる「ほっとシティ」)

【区域】  
山形県寒河江市  
【設立時期】  
26年7月9日  
【代表者】  
那須 義行  
【マーケティング責任者】  
猪倉 秀行  
【職員数】  
4人  
【連携する主な事業者】  
西村山DMO、寒河江市金融団、寒河江商工会 等

(表：実施体制)



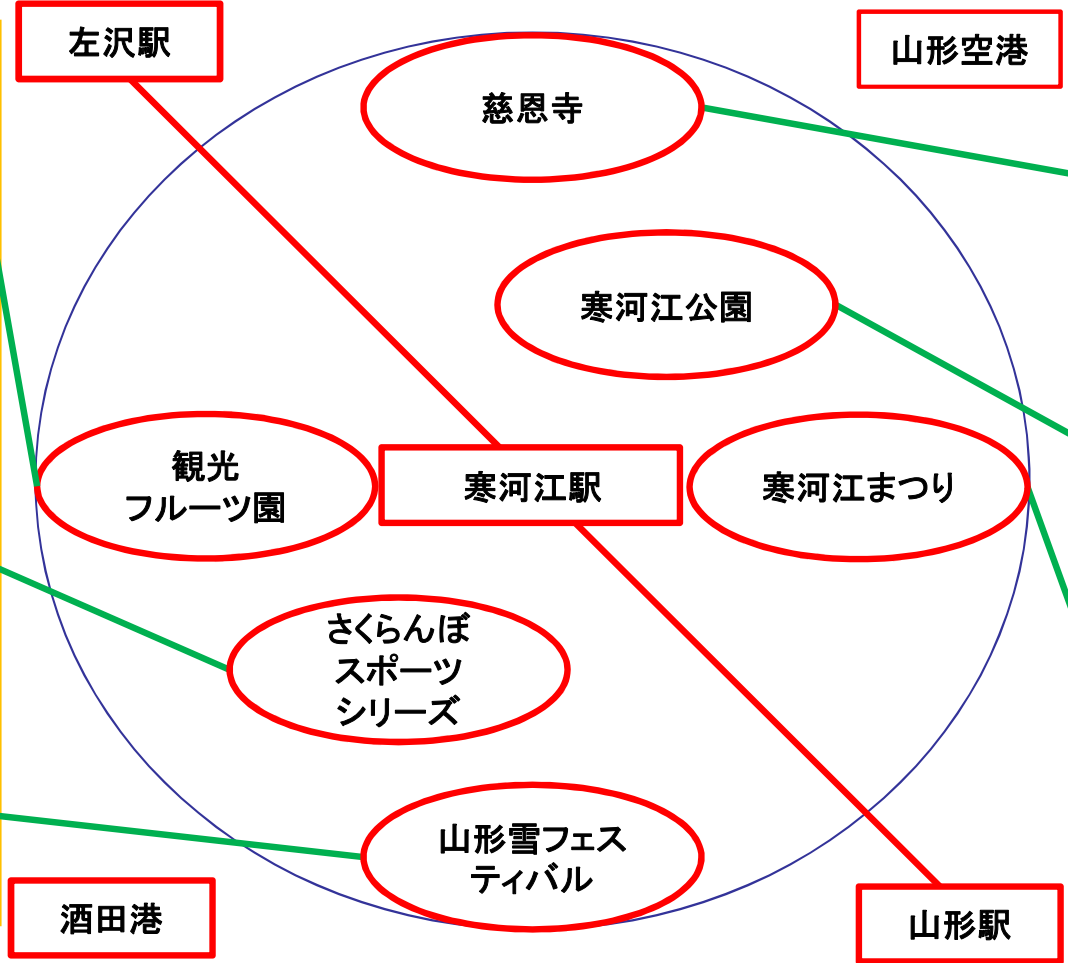
(表：KPI(実績・目標))

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
旅行消費額	280億円	288億円	297億円	306億円	315億円
延べ宿泊者数	4.6万人	4.7万人	4.8万人	4.9万人	5.0万人
来訪者満足度	-	50%	55%	60%	65%
リピーター率	-	-	-	-	-

**観光フルーツ園に関する取組を記載**  
「日本一さくらんぼの里さがえ」には300箇所のさくらんぼ果樹園があり、6月には市内各地でさくらんぼ狩りが楽しめます。その他、雪中いちご狩りやぶどう狩りなど、季節に応じたフルーツ狩りが楽しめる。

**さくらんぼスポーツシリーズに関する取組を記載**  
さくらんぼウォーク、さくらんぼマラソン、ツール・ド・さくらんぼ

**山形雪フェスティバルに関する取組を記載**  
山形県の雪まつりのオープニングを飾るイベント。会場では雪像やイルミネーション、雪見横丁や雪遊び体験など、大人も子供も楽しめる内容が盛りだくさん。



**慈恩寺に関する取組を記載**  
聖武天皇の勅命によって開基されたと伝わる古刹。国史跡にも指定され、本堂、三重塔、薬師堂などが立ち並び、厳かに静寂の時を刻んでいる。本山慈恩寺本堂の他、薬師三尊や十二神将は国重要文化財に指定されている。

**寒河江公園に関する取組を記載**  
11種類、4万3千株のつつじが咲くつつじ園は東北最大規模。5月上旬から下旬にかけて見頃をむかえ、期間中は夜間ライトアップも実施。5月中旬にはイベントも開催している。

**寒河江まつりに関する取組を記載**  
毎年9月の寒河江八幡宮の例大祭の時期に開催される祭り。祭りのフィナーレを飾るのは「神輿の祭典」。約4,000人の担ぎ手が神輿を担ぐ姿は圧巻。

# 寒河江DMO/関係図

